

# 令和4年度決算の概要

令和4年度の新潟市病院事業（税抜）は、事業収益277億1,736万円に対し、事業費用277億4,698万円となり、差引 2,962万円の純損失（赤字決算）となりました。期末時点における累積欠損金は55億8,184万円となっています。

本業の決算である医業収支について、医業収益は218億4,147万円となり、令和3年度決算に比べて11億9,775万円の増となりました。

そのうち入院収益は、1日あたり患者数が20人増、単価は1,678円増となり、8億9,797万円の増でした。また、外来収益は、1日あたり患者数が9人増、単価は990円増となり、3億1,099万円の増となりました。

医業費用は259億5,061万円となり、令和3年度決算に比べて9億4,650万円の増となりました。主な要因は給与費が4億6,342万円、材料費が4億1,075万円の増となったことです。

その結果、医業収支は41億914万円の赤字となりましたが、前年度に比べ2億5,125万円良化しています。

令和4年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、平時と比較して入院患者は減少しており、全病床利用率は76.0%と前年度を1.0pt上回ったものの、未だ80%を割っており、コロナ前の水準には程遠い状況です。

今後も新興感染症にしっかりと対応しながら、病床利用率の向上等により収益を増加させるとともに、費用の適正化を図ることで健全な経営改善に努めていきます。

